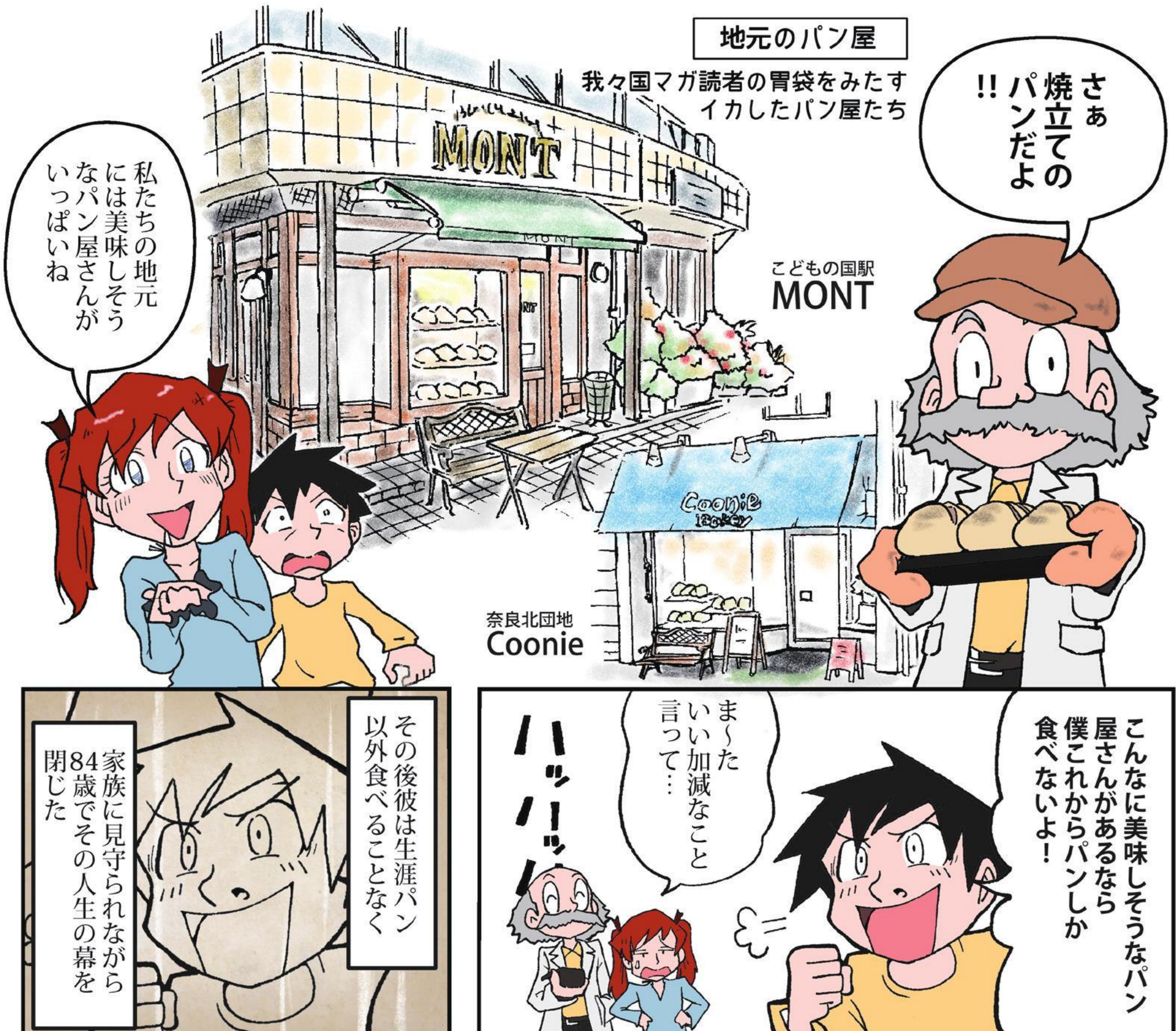


TAKE FREE

子どもの国駅周辺エンタメマガジン

国マガホームページ <https://kunimaga.jimdo.com>

令和になんでもこどもです



横浜市立奈良小学校



学び舎の歴史

この写真的風景、この町で育った50代後半以上の方なら懐かしい風景かもしません。昭和38年(1965年)の奈良小学校を見渡す風景です。当時はまだ、こどもの国開園2年前、こどもの国線も走っていない時代です。見ての通り小学校自体も今とは別の場所にあり、奈良山の麓にありました。2019年現在の写真も掲載してじるので見比べてみてください。

この写真的の後、昭和46年(1971年)に現在地へ移転する奈良小学校ですが、元々の起源をたどると、明治元年(1868年)までさかのぼるそうです。松岳院の末寺である瑞田寺に開かれた寺子屋が原点なのだと。それから場所や名称の変遷を経て、昭和28年(1953年)に横浜市立奈良小学校として開校し、今なお子供たちの学び舎として続いている

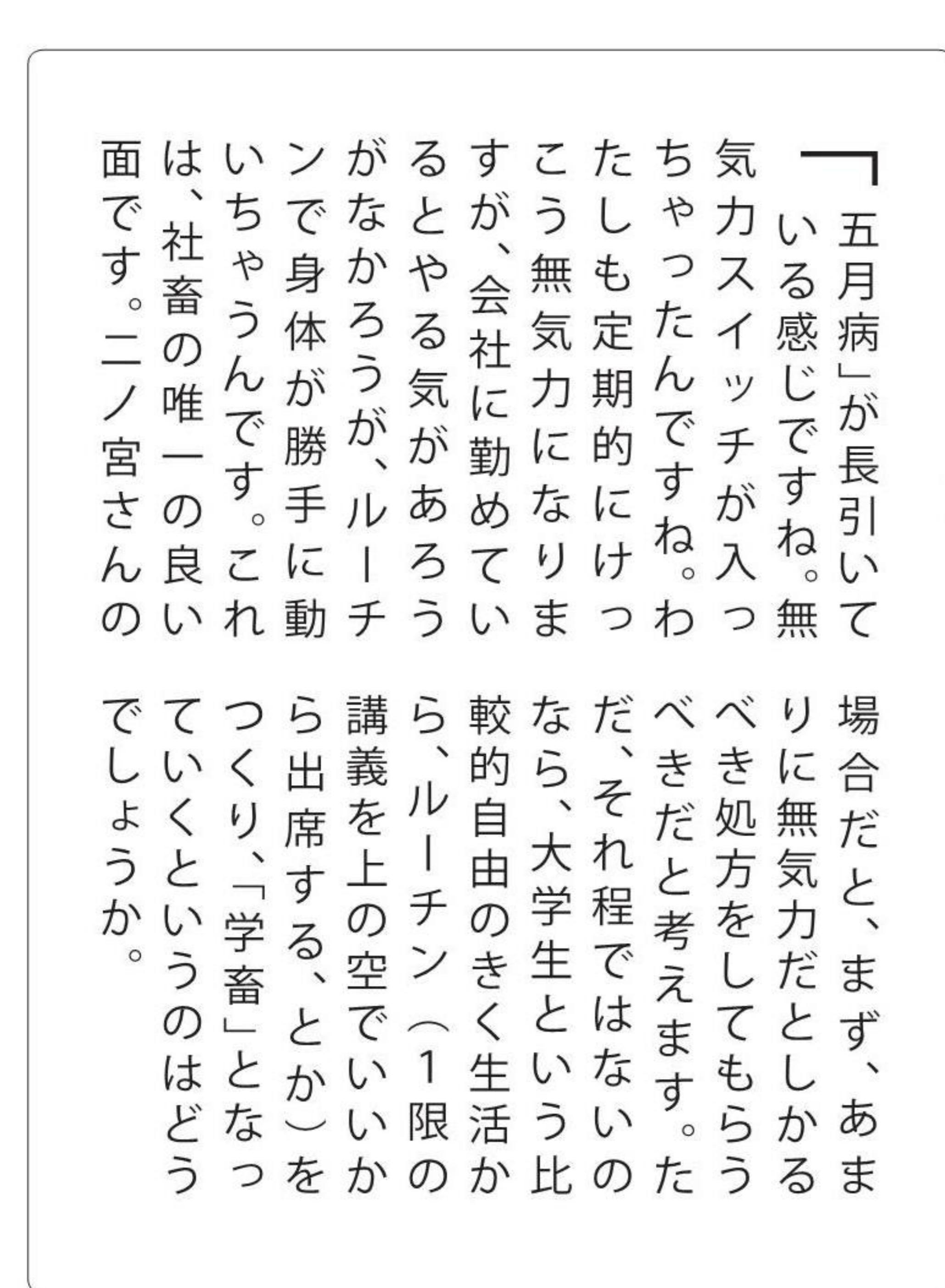
です。より詳しく知りたい方は「はまれば.com」の奈良小学校の記事を御覧ください。

自分たちの通った小学校にこんなに長い歴史があるとは思ってもいませんでした。それを写真とい形で見ることができるなんて、撮影者の方にすごく感謝したい気持ちです。誰かが残さなければ消えていつてしまう風景。この国マガも50年後には貴重な歴史資料になっているかもしれませんね。



オオキ 長男

写真に限らず、記録に残す大事なことですね。数年前、祖母が亡くなる前の祖父との笑顔のツーショット写真は本当に撮っておいてよかったと思っています。大切なものは忘れず保存しておきたいです。



お悩み相談募集!!宛先:kunimaga920@gmail.com

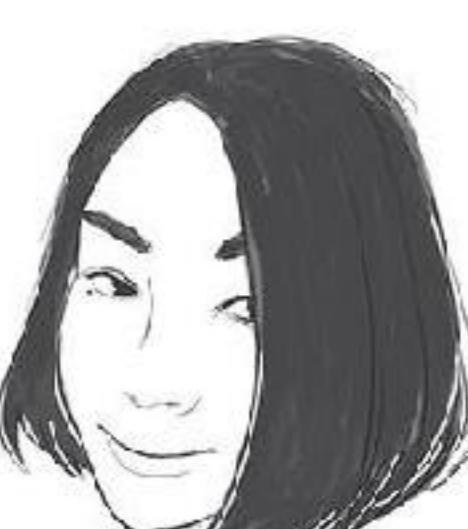
國外ART information

礼和最初に出会うのは、どんなアート?



「横浜美術館開館30周年記念 Collection -アートと人と、美術

30年の軌跡とこれから
平成元年の開館以来、30年に渡り作品収集を行ってきた横浜美術館。本展では、自身の「コレクション」を軸としながらも、「meet the collection」とも並ぶように、作品や人との「出会い」の場としての美術館のあり方を見つめます。また、会場では平成の時代背景と施設のゆみを振り返る場も設けられます。平成からその先へ。節目の季節に、横浜美術館で新しい何かに出会うことができるかもしれません。



ムラウチミチレイ 美術館スタッフ

世間の休み=繁忙期。この後やってくる10連休と戦うための装備を今から整えています。皆さま、旅先ではひとにやさしく、ね。

こどもの国周辺 イベントカレンダー

2019 MAY	2019 JUN
~5/19 (日) こいのぼり掲揚 5/19 (日) 紙飛行機を飛ばそう 5/25 (土) うしのかざぐるま 5/25 (土) おもちゃの病院 5/26 (日) うしのかざぐるま 5/26 (日) 青葉区民謡民舞会 5/27 (月) カゲレン! 5/30 (木) カゲレン!	6/1 (土) フラフープ教室 6/2 (日) フラフープ教室 6/5 (水) 奈良でちゃちゃ 6/9 (日) ダンスパーティー 6/16 (日) 虫とりをしよう 6/23 (日) 虫とりをしよう

…こどもの国 …青葉区役所・公会堂
…奈良地区センター …フィリアホール
…その他

町の情報提供:ナカタク

元号も新たに変わり、梅雨入り前の気持ちのよいシーズンになりました。今月と来月のこどもの国周辺のイベント情報を紹介します。4月の改元前に当時の天皇皇后両陛下が訪れ、その日の巨大こいのぼりが5月19日まで見られます。また、牧場にいる牛の形を模した可愛らしい風車「うしのかざぐるま」を作ることができるイベントも5月25日と26日に開催されるので、ぜひお出でください。今年2月に内装まで牧場にバージョンアップされましたね。憂鬱な通勤時間も牧場気分でひとときのピクニック気分を楽しめます。5月25日には奈良地区センターでおもちゃの病院を開催。治療したいおもちゃがある方は事

回は6月9日に開催。腕に自信のあるベアはぜひご参加ください。また、毎月第1水曜日に開催され、毎年恒例の天皇皇后両陛下が訪れる、その日の巨大こいのぼりが5月19日まで見られます。また、牧場にいる牛の形を模した可愛らしい風車「うしのかざぐるま」を作ることができるイベントも5月25日と26日に開催されるので、ぜひお出でください。今年2月に内装まで牧場にバージョンアップされましたね。憂鬱な通勤時間も牧場気分でひとときのピクニック気分を楽しめます。5月26日には青葉区公会堂で開催される青葉区民謡民舞会です。全国に伝わる唄や踊りを楽しめるイベント。世間の潮流に背を向けて、民謡民舞の世界に浸るのも嬉しいところですね。それでも嬉しい初夏のこどもの国ライフを満喫してくださいね。それではまた次回! (安原)



加藤シユンスケ (表紙を描いた人) イラストレーター

正直な話私は米党なので普段あまりパンは食べないので、カレーパンだけはヨダレが出るほど好きなんです。

4コマ

こどもの国 今昔物語

延伸



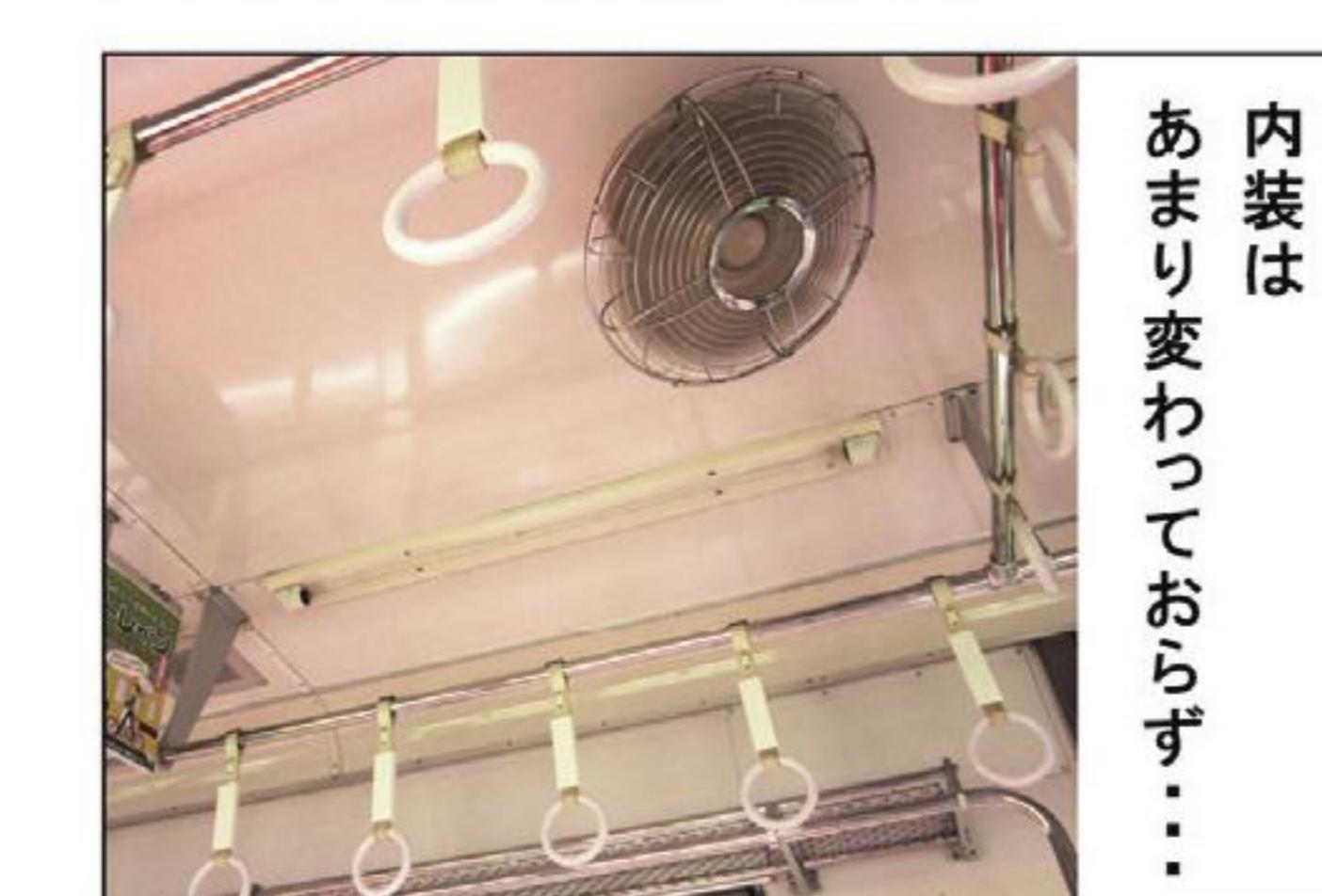
第二の人生



恩田駅



こどもの国駅



鶴川駅



やきそば 会社員

横浜市営地下鉄ブルーラインは新百合ヶ丘駅までの延伸が決まりました。



コラム



育ち

サリー志村

平成のおわりにかんがえた

平成が終わりそうというタイミングでこれを書いている。85年生のわたしが自分の記憶と「平成史」がリンクする最初のところは95年の地下鉄サリン事件だ。事件の日、終業式で学校は半ドン（もう死語）で、昼に家に帰ってテレビをつけたら、地下鉄で異常なことがおきているとパニック気味に伝えていて、霞が関上空のヘリは要領を得ない中継を繰り返していた。

なぜ、事件の犯人つまりオウム真理教の信者たちはあんなことをしたのだろう？ 当時の彼らといまのわたしの年齢が近くなり、平成の終わりにそんなことを考えるようになった。この事件を取り上げたノ

ンフィクション『アンダーグラント』

で村上春樹はこう指摘する。社会で生きづらさを感じていた若者たちに教祖の麻原正晃は「物語」を与え支配し、彼らはその物語に忠実に反社会的な行動に及んだ、と。この「物語」の意味はなかなか難解だけど、個人的には人生に地に足をつけさせるような「重力」をイメージしている。どんな人だってふわふわと無軌道に浮かんでいるだけでは人生を自ら歩んでいる感覚を得ることはできない。自分なりの重力——それは家族だったり、職業だったり、趣味だったり——が見出せないでいると、あせってチープで危険な教義に手を出してしまうのかもしれない。

事件から約25年が経った現在、

経済格差は拡大し、人の流動化が進んでいる。以前よりも増して人がなにかに人生の「重力」を見出すことは難しくなってきている。さらに最悪なことに、その弱さにつけこむように「これを信じろ！」とスマホの向こうから、ちゃちな情報が毎日、洪水のように流れてくる。なかなか次の時代もハードになりそうな予感だ……なんか今回はシリアルになってしまった。新しい元号には、せめて重力を感じるものになって欲しい。たとえばうーん、「新豚」と書いて「ニュートン」とか。はい、バカバカしい、ダメですね。これを読んでいる、新しい時代にいるあなた、そのこたえはなんでしたか？

サリー志村 編集者

本を読み上げてくれるAudibleを利用してしています。スキマ時間を使って良いですが、たまに、それを聴きながら電子書籍を読んでいることもあります。貧乏性。



国マガ配布店

【こどもの国地区】 ● GRIVE(コーヒー) ● こどもの国歯科(歯科)
● こどもの国くすり屋さん(薬屋) ● シュタットシンケンかくれが工房(ハム／ソーセージ) ● 炭火焼肉はぢ(焼肉) ● スリーエフ・こどもの国駅前店(コンビニ) ● なごみ(そば) ● 奈良地区センター ● Bacchus(イタリアン&バー) ● パドル&ブリュー(コーヒー) ● MONT(パン)

【奈良北地区】 ● かつ元(とんかつ) ● Coonie(パン)
● コンレマーニ(クラフト&カフェ) ● 昭和書房(本／文具)
● 街の家族(コミュニティハウス) ● felicea(美容室)

【長津田地区】

● 鈴幸ハウス 横浜長津田支店

【青葉台地区】 ● KOGA(美容室) ● COPPET(パン) ● 鈴幸ハウス 青葉台支店 ● SoulCocktail's AOBADAI(バー) ● 246亭(ラーメン)

国マガからのお知らせ

54号はいかがでしたでしょうか？ 前回の刊行が大幅に遅れてしましましたので、え、もう出たのという感じですね。わたしたちも、その〆切の早さに、え！？ となっていました。お互い様です。国マガは今月でなんと7年目です。すごいですね。創刊のとき小学1年生だった子が小学6年生になったわけです。すごい！ しかし、このよくある「たとえ」ですが、これはつまり時間の長さと変化の大きさを示しているわけですが、すごいのはぐんぐん伸びた小学生の方という気がしています。45歳の人が52歳を迎えたところで変化に乏しいわけで。そんな屁理屈を言ってる間に紙幅がつきました。というわけで、また来号！

おしらせ

- ホームページ！ すべての情報はここで！
URL: <https://kunimaga.jimdo.com>
- 次号の国マガの配布日はだいたい7月15日です。

こどもの国系情報誌「国マガ」国マガ Vol.54

発行日 2019年5月15日

発行人 サリー志村

デザイン ヨシミユキ

DTP 安原まひろ

顔イラスト 柏木翔子 ムラウチミレイ

連絡先 kunimaga920@gmail.com

Facebook <https://www.facebook.com/kunimaga/>

この町の記憶

安原まひろ



真夜中の一杯

毎日の売上やら後輩の育成やらに日々追われていた俺は、3ヶ月前についに限界を迎えて、会社の最寄駅で電車を降りなかつた。人間は意外と自分の役割を自分で勝手に決めているようで、聞いたことのない駅にたどり着いた時も、後悔や開放感があるわけでもなく、こんなものかと感じていた。

当然、即日で会社から解雇され、深夜残業の翌日でも遅刻しないように、会社近くに借りた部屋を引き払った俺は、ひとまず実家に戻り、ハローワークに通いながら新たな職場を探すこととした。10年近いブラック労働は、次なる職場をどのような基準で選ぶのかといった客観的な思考を奪つてしまふ。友人知人の「少し休んだほうがいい」というアドバイスから、俺はひとまず実家近くの学生時代に働いていた牛丼チェーンで深夜のアルバイトを始めた。慣れた仕事だから楽寄り客の多さに驚いた。昔はファミレスのように長時間居座る若い集団に肩をひそめていたものだが、今は老人たちの集会所といった性格が強くなっている。

そんな老人の中に、いつも一人で飲みにやつてくる爺さんがいた。飲みにくるといつても、この店にはアルコールは置いていないので、セルフでのワンカップ持ち込みであり、牛丼とキムチをつまみで飲んで帰っている。もちろん、店の立場としては法度な行為だが、会社への貢献のためにわざわざ注意して面倒事に首を突っ込みたいと思う理由はなかった。

店内を監視するカメラによって俺の飲酒はばれ、すぐクビになつたが、結局そこそこの仕事に転職することができた。その後、昔のバイト仲間と話す機会があつたが、あの爺さんは特許で儲けた結構な金持ちで、あの牛丼家の土地の持ち主だという話だが、本当かはわからない。だけど少なくとも、あの時の俺にとって、何かしらの救いだったことには間違いない。



安原まひろ 美術系出版社

花粉症です。豊富に蓄積された花粉症ナレッジを持つ編集オオキに、最新の症状緩解アドバイスをもらうのが毎春の恒例です。

ジャンパーにボロシャツのその姿が汚いわけでもなく、ほどで切り上げてくれるの、放置することにしていた。

ある日、「兄ちゃん、ずっとアルバイトなのかな？」と、その爺さんに話しかけられた。正直、面倒ではあったが、俺は素直に「いえ、ちょっと前に会社を辞めて」と答えた。

「あんな、俺もな、仕事何回も変えているけどな、最後はどうにかなるからさ、気長にやれよ」と爺さんは言い、俺の何を知っているんだこの爺さんは、と思いつつも、その妙な馴れ馴れしさに思わず笑ってしまった。「一杯どうだ」と、爺さんはコンビニ袋からガサゴソと缶ビールを取り出してテーブルに置いて自配せた。「いや、勤務中なんで…」と言つと「勤務中だから？」と爺さんは言う。確かに、勤務中だから何なのだろうか。この爺さんの妙な自信にほだされ、他の客が来る前に俺はその場で一気にビールを飲み干した。

「いい飲みっぷりだねえ」と爺さんはニヤニヤと笑つ。「勤務中なんだ」と言つて俺もニヤニヤと笑つた。

店内を監視するカメラによって俺の飲酒はばれ、すぐクビになつたが、結局そこそこの仕事に転職することができた。

その後、昔のバイト仲間と話す機会があつたが、あの爺さんは特許で儲けた結構な金持ちで、あの牛丼家の土地の持ち主だという話だが、本当かはわからない。だけど少なくとも、あの時の俺にとって、何かしらの救いだったことには間違いない。